

平成 27 年度 SSH 活動記録のページ

平成 27 年度 12 月 SSH 活動記録

平成 27 年度 12 月の球陽高校 SSH の取り組みを紹介します。



2015. 12. OIST (沖縄科学技術大学院大学) 主催

SCORE! サイエンス in 沖縄 : 起業のための研究能力

1 位と 5 位が球陽 !

12 日 (土) OIST (沖縄科学技術大学院大学) にて、SCORE ! が開催されました。SCORE ! とは、県内の高校生への研究活動を発展させることと起業家精神に関心を持ってもらうことを意図するとともに英語立県沖縄への取組みを支援するための研究発表大会です。高校生達の日頃の研究活動をビジネスや日常生活にどう活用するか?生活をよりシンプルで、より向上できるか?が審査の基準になります。この SCORE! に球陽高校から 4 研究が出場しました ! 以下がその研究タイトル (発表順) です !

- ・「チガヤを用いた除草マットの開発」
- ・「薄貝加工品のモデルとしてのヤコウガイの物理化学的解析」(5 位 !)
- ・「ステンドグラスでスタイリッシュに発電」
- ・「効率の良い海ブドウ養殖の方法について」(1 位 ! ! !)

1 位の海ブドウ班には副賞としてアメリカ研究旅行が贈られました ! おめでとうございます ! 他の発表者もお疲れ様です ! みなさん立派に発表できていました !





2015. 12. ■ SSH 探究Ⅱ 中間分野別発表会！

12月16日(水)SSH探究Ⅱの時間に中間分野別発表会が行われました。今回はなんと！琉球大学、OIST、県立総合教育センターから先生方を招き、生物分野の生徒達の発表を見てもらうことができました！琉球大学からは西田副学長、教育学部教授杉尾先生、農学部教授辻先生が来校し、OISTからは研究安全セクション、セクションリーダー田中先生が来校し、県立教育センターからは主任研究主事知花先生が来校してくれました。どの先生方も普段は大人や大学生を相手に講義や指導をなさっている方々です。高校生の研究の、それも中間発表会に来ていただいて大変恐縮です。これも球陽高校がSSHに指定され、理数研究活動に力を入れているおかげだと思います。これから生徒達は研究成果を様々な大会やコンテストに出すと思いますが、来校して下さった先生方のアドバイスは限りなく審査員の視点に近いアドバイスになり、大変参考になることでしょう。来校して下さった先生方大変ありがとうございました！





2015. 12. Ⅰ第 1 回英語による高校生科学研究発表会

12月12日(土)、茨城県立緑岡高等学校主催の「第1回英語による高校生科学研究発表会」に球陽高校からSSH探究Ⅱのマングローブ班が出場しました。マングローブ班のテーマ名は「沖縄本島における国内外来種ヒルギダマシの分布(Distribution of Mangrove in Okinawa Islands)」です。マングローブ班は、宮古島が分布の北限であるヒルギダマシが沖縄本島で観察されているという話を受けてそれに興味を持ち、沖縄本島のマングローブの分布状況およびヒルギダマシの分布様式を調べました。その結果をポスターにまとめて英語にして、茨城県で発表してきました。マングローブという地域性を活かしたテーマで沖縄らしい発表になったと思います。



感想

- ・今回のポスターセッションは英語の発表で、外国人の先生方もいて緊張しました。英語でたくさん質問されて新しくわかったこともたくさんあったので、これから活かしていきたいです。いい経験になりました。
- ・今回のポスターセッションでは、他県の生徒の発表も聞けたりしていろんな事を学ぶことができました。英語の発表ではたくさん練習したおかげでスムーズにできたので良かったです。

・思ったより、あまり緊張しなかったし、ネイティブの人にも質問をちゃんと答えることができたので、良かったです。

・いつもより発表しやすい環境で、みんなと笑え合えたりして、たのしかったです。

2015. 12. 第1回英語による高校生科学研究発表会

2回目となる今回は、27人から計66枚の応募がありました。前回より人数では7人増、枚数では、前回無制限に対し今回1人最大6枚制限で比較はできませんが、23枚減でした。

今回の撮影期間は、日ごとに日の出は遅く、日の入りは早まり、また、前回の夏場のように雲の種類は多くなく、幻日（げんじつ）、日暈（ひがさ）、虹などの大気光学現象もほとんど見られない時期です。登下校時間帯しか撮影機会がない球陽生には、シャッターチャンスを見つけること自体が難しかったかもしれません。

それを裏付けるように、投稿された写真を見ると、同日撮影の写真が9枚ありました。10月17日は、綺麗な夕焼け空が現れ、5名がそれぞれの感性で撮影していました。5名の撮影時刻の差は最大で3分でした！11月30日は、高積雲を4名がそれぞれの場所から撮影していました。同じ空を観てカメラを向けた人が他に居たと思うと、なんだか嬉しい気分になりませんか？

さて、審査ですが、気象学的な視点で、シャッターチャンス、臨場感、構図などを総合して、最優秀賞1点、優秀賞5点、優良賞4点、SSH賞1点、奨励賞2点を受賞者が重複しないように決定しました。なお、生徒投票賞は、時間の関係で今回は表彰対象とはしませんでした。入賞者は以下の通りです！おめでとう！！

最優秀賞	1-7 知念大義		
優秀賞	1-2 新元紀香	1-3 兼次れいな	
	2-1 島田奈奈	2-2 小林真世	2-4 新里佳璃奈
優良賞	1-3 島袋愛子	1-5 山本美空	2-1 草野明香 2-3 比嘉美南海
SSH賞	2-1 知念ひなの		
奨励賞	1-8 安座間鈴花	2-4 與久田京里	

入賞者には、賞状と副賞を授与します。副賞賞品の一部は、日本気象学会沖縄支部様より提供して頂きました。